

11月8日・9日はオープン・ハイスクールが行われました。夏季休業中に続いて2度目となります。8日は体育科と生活科学科が行



われました。体育科では寮の食事が並べられるなど少しでも理解していただくために、生徒自らの話を含め授業見学、部活動見学を行いました。生活科学科では特別非常勤講師の先生に来ていただいて授業をしているところを見ていただくなど普段の様子を伝える内容となりました。生徒との面談でもオープンハイ



で実感したままの授業が展開されていてとても充実しているという話を聞いていましたので、参考になったと思います。9日は普通科でした。生徒会が学校紹介を行い、学校生活の細々したところをわかりやすく伝えていました。全体会の後は、班ごとに施設見学や授業見学に向かいました。この11月の希望調査をもとに進路の決定となるだろうと思います。高校受験は生徒たちにとって最初の大きな選択となると思いますのでしっかり考えて決めて欲しいと思います。そして社高校と一緒に目指す自分になれるよう頑張ってください。よろしくお願いします。

さて、警察庁からの連絡で11月1日から自転車の違反に関する取り締まりが厳しくなる旨お知らせがありました。本校でも今年に入ってから自転車と車による接触事故が数件発生しており、出会い頭であったり、横断中であつたりと大きなケガに繋がるものも含まれていました。被害者になるケースが多いのですが、自転車は軽車両扱いですので加害者になる場合もあります。以下の点を確認し、注意をしてください。

自転車に関する交通ルール

- ①車道が原則、左側通行、歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用(先日もお知らせしましたが、努力義務になっています)

他にも並進、二人乗り、片手運転や傘差し運転、スマホを見ながらの運転やイヤホンをしたままの運転など禁止項目はたくさんあります。自転車に乗っている場合は軽車両扱い、自転車を押している場合は歩行者扱いとなるため交差点での横断や横断歩道上の横断などはそういった認識を持ち、信号機の車両用・歩行者用をしっかりと見ておく必要があります。さらに歩道を自転車通行が可能などには標識があり(歩行者と自転車の絵が描いている青い看板)、通行する際は歩行者優先ということを頭に入れておかねばなりません。間違っても警音器を鳴らして歩行者に「道を空ける」といわんばかりの行為は禁止されています。かなり注意すべき事が増えてきましたし、赤切符を切られるケースもあるそうです。歩行者妨害や信号無視、一時停止違反、通行禁止違反など大きな事故に繋がる恐れがある場合は警察署に呼び出されるケースや、場合によっては起訴されるケースもあるそうです。また、スマホを見ながら等の運転で人にぶつかってケガをさせてしまうなどの加害者になった場合は、かなりの損害賠償を請求されるケースもあります。過去の例では数千万の賠償金になった例もあるようです。事故未然防止のため、かなり厳しくされるようなので、自転車通学の生徒は十分に注意をください。自転車だから大丈夫というわけではありません。あくまでも軽車両と同じという認識を持っておきましょう。よろしくお願いします。

11月11日から行われた柔道県新人大会は、女子は1人のため個人しか出場できず、接戦の末準優勝した選手に敗戦。男子は団体ベスト4入りをかけた育英高校との対戦で敗戦しベスト8。個人は60kg級の1年栄選手の3位入賞が最高で、81kg級2年北口選手、100kg級上野選手がベスト8に入ったようです。厳しい戦いが続いたようですが、この経験をもとに次の大会、来年の総体



野選手がベスト8に入ったようです。厳しい戦いが続いたようですが、この経験をもとに次の大会、来年の総体

に向けて仕上げていってください。お疲れ様でした。

前号で紹介した日時が間違っていた県高校総合文化祭文芸部の展示と表彰が、11月12日に神戸クリエイティブセンター(KIITO)でありました。展示を見に行くことはできなかったのですが、詩部門で2年

令和4年兵庫県高等学校総合文化祭文芸部門
高等学校総合文化祭 詩部門 優良賞
「写真」 田畑すずほ

写真立ての内側

日の沈みかけたグラウンドの端っこ
ハチマキを巻いているのは
何年前の秋、体育祭のワタシ

振り返られる度改竄されてゆく記憶は
写真立ての一枚と結びついているでしょう

固くて薄い機械の内側
何千枚に埋もれて
お冷やを飲んで咽せているのは
ありふれた休日、先週のワタシ

思い出されもしないひと時は
鮮度を保って残り続けるでしょう

誰もの記憶の外側
何処にもいけなくて
すれてしまってもいないのは
アナタのスマホの、見返されない写真

またシャッター音が鳴ったので、
一枚止まった時間が溜まったのでしょう
いちばん素直で綺麗なままの

高等学校総合文化祭 短歌部門 入選
藤本穂花

綺羅星の かけらを一つ 包み込む
手からあふれる 蛍の光

田畑すずほさんが優良賞を受賞。短歌部門で1年藤本穂花さんが入選を果たしたとの報告を受けました。左がそれぞれの作品です。どちらの作品も情景が目には浮かんできます。受賞おめでとうございます。

また11日から13日までイーグレ姫路で展示された美術・工芸部門では絵部門で2年田畑みずほさん、工芸部門で2年川上瑛大君が全国総合文化祭(2023鹿児島大会)出品候補者に選ばれました(写真右・上二つ)。作品名は田畑さんが「静寂」、川上君が「鱈」です。川上君の作品はまだ今から仕上がるそうで、本番出品が楽しみです。また、絵部門では、2年佐野日夏子さんの作品が近畿高校総文(2023三重大会)への出品候補者に選ばれました。作品名は「父の工房」です。いずれの作品もかなりの力作で、キャンバスに向かう取組の様子やひとつひとつの部品を組み立てる様子が見え、作品の幅を広げてきて欲しいと思います。受賞おめでとうございます。作品はすで



に本校に持ち帰り、廊下に展示されていますのでご覧になってください。

紹介した以外にも放送部が11月12日に「第7回安全安心のまちづくり加東市民大会」という加東市のイベントで司会をしました。また、今週末には生活科学科が、「加東市の魅力知り尽くちゃエツアー」を実施します。校外での活動も増えてきました。随分と寒くなってきて冬の準備が進んでくると窓を閉め切ることも多くなります。換気が十分でない新型コロナやインフルエンザへの感染が危惧されるようになります。修学旅行先の北海道では新規感染が1万人を超えたとの情報もあります。社会生活は止まらずに進行していきますので、日常生活における感染防止対策と学校生活での防止対策をしっかりと守って、第8波も言われる状況を少しでも軽減できるよう努めていき、教育活動を止めないようにしていきたいと思っています。北播磨の小中学校でも感染の広がりを見せ始めているようですので、いつ誰が感染してもおかしくない状況には変わりはありません。一人ひとりが感染防止に努めることで守られる部分もあります。体調維持管理に努めると同時にワクチン接種などの情報もしっかりと得ていきましょう。さらに日暮れも随分と早くなり、年末が近づいてつれて気ぜわしくなってきます。時間に余裕を持つと共に大人は自動車、生徒は自転車の運転には十分に注意をして事故等を起こさない、巻き込まれないように注意してください。2学期末に向けてラストスパートです。頑張っていきましょう。